

難民支援のための子供服回収活動

“届けよう！服のチカラ”プロジェクト

全学年

委員会活動

〔活動のねらい〕

- 地球規模の問題について紹介する活動を通して、つながりを尊重する態度を養う。
- メンバーとポスターを作成する作業を通して、他者と協働する態度を養う。
- ※小学生にも分かるように表現や伝え方に工夫をすることで、コミュニケーション能力を養う。

志教育の視点

かかわる

もとめる

はたす

- 世界の問題に主体的に関わり、協働で作業をすることで、自分の役割を理解しその責任を果たす。

〔活動のねらい〕

1 難民について知ろう

- 世界の難民の約半数が子供であることを知る。
- パワーポイントによるプレゼンテーションや体験を通して、服の持つチカラを理解する。
- 遠く離れた外国の問題でも、身近に貢献できる活動があることを知る。



2 一緒にポスターを書こう

- この活動を通して伝えたいメッセージを各自で考え、ポスターを作成する。
- ※「1 難民について知ろう」で知った内容を、小学生向けのパワーポイントに作成して小学生に向けてプレゼンテーションをする。
- ※小学生と一緒に洋服の折り紙を折りながら交流をする。
- ※小学生と一緒にポスターを作成し、難民に協力しようとする想いを共有する。

3 活動を広めよう

- 校内において、啓蒙活動をする。
- ※小学校において、交流をした6年生から下級生または家庭で伝達してもらうことで活動の輪を広げるように呼びかける。

※印については、コロナ感染拡大防止のため、今年度は実施できなかった。

国際交流壁画協働作成

アートマイルプロジェクト

インドネシアの高校生との交流

全学年

特別活動

〔活動のねらい〕

- 世界に開かれた広い視野を持ち、世界の人々と協働して未来を切り拓く力を育む。
- 答えのない問いに取り組み、仲間と対話をして解決する力を育む。
- 多様な文化背景を持つ同世代と共通のゴールに向けて取り組み、他者を尊重する態度を養う。

志教育の視点

かかわる

もどめる

- 外国の文化を尊重し理解を深めながら、自国の文化の特徴を俯瞰的に見つけ、両国間のパートナーシップについて主体的にかかわろうとする姿勢を身に付けさせる。

〔活動のねらい〕



1 お互いの文化について知ろう

- お互いがより深い学び合いになるように、お互いのプロフィールや学校生活に関する情報を、SNS やビデオレターを交換して交流を深める。

2 一緒に考えよう

- インドネシアの地理や歴史、民俗や言語、文化に加え、日本との関係について学習する。
- コロナ渦におけるお互いの国での生活について共有することで、世界で取り組むべき課題が何であるのかを考え、想いを共有する。
- より良いパートナーシップの構築に必要な観点について議論する。

3 テーマを決定しよう

- 持続可能な社会の構築に必要な課題とは何であるのかを、お互いの交流を通して見出すことができるように主体的に関わらせながら交流をさせる。